

原地区自治会自主防災会 防災訓練

平成29年5月21日（日曜日）、南海トラフ巨大地震が起こり2時間後に津波が来るとの想定で、10時30分の時報を合図に地区住民約50名がそれぞれの自宅から非常持出袋を背負って、地元で地震の際、避難場所と決めている無動院（標高23m）まで、徒歩にて避難する訓練を実施しました。

当日は、様々な年齢層の方が最高気温30度近くある中、汗だくになりながら、急な坂道を登って、無動院を目指しました。

避難場所に到着後、危機管理課職員の防災講話を聞き、約1時間の訓練は終了しました。

小園洋一会長の話

「原地区自治会自主防災会は平成21年6月結成以来、毎年、1回、地区の大掃除のあと、こういった防災訓練を必ず実施してます。

私たちの地域では、地震などの大きな災害が発生した時、一人暮らしの高齢者や、歩行ができないなど何らかの障害をお持ちの方などに安全に避難をしていただくため、班ごとに班長を中心に避難の支援をするよう、計画を立てています。

これからも、会長・副会長をはじめ役員が一致協力してリーダーシップを発揮し、避難の支援体制を守っていこうと思います。」



